

アイデアウイルス

idea virus

No. 60
August 2006

売れるしくみ、繁盛のカギを考えるアイデア情報誌

Contents

- 商売繁盛の秘訣 p.1
「食べられないところ」が
商品価値を大きく左右するシリーズ
第8回「行きたくない催事、買いたくなるモノ」
- 実力店の突撃取材 p.3
商品一点一点をこだわって仕入れる
オフィス立地の人気セレクトショップ
「ラックストウキョウ（東京・渋谷区）」
- 当世出版ビジネス事情 p.5
読者参加型の出版ビジネスモデルで
売上好調
出版社「アルファポリス（東京・渋谷区）」
- 主婦マーケティング p.7
売場と主婦の恋愛関係《シリーズ第30回》
消費現場の95%に主婦がいる！
子供と防犯についての主婦の本音：
いざという時、うちの子防犯グッズを使えるから...



沖縄県のアンテナショップ「沖縄わしたショップ」

売場と主婦の恋愛関係

《シリーズ 第30回》

消費現場の95%に主婦がいる！
子供と防犯についての主婦の本音：
いざという時、うちの子防犯グッズを使えるかしら…

主婦マーケティングとは市場(女)と企業(男)のロマンである。このコーナーでは、毎回当社が集めた主婦データをもとに様々な消費者のシーンや生活者のホンネを読み取り、売場と主婦の恋愛関係を探る。

主婦データ 子供と防犯について
 サンプル数:271名
 実施日: 2006.5.25 ~ 6.2

子供が巻き込まれる事件、ひとごとではないわ!

全国の主婦に子供と防犯についてのアンケートを実施した。

まず、子供に防犯グッズを持たせているかどうかを聞いたところ、「はい/77%」「いいえ/23%」の結果となった。また、持たせている主婦に、それはどのような防犯グッズなのかを聞いたところ、「防犯ブザー/179」「携帯電話・PHS/50」「笛(ホイッスル)/47」「その他/2」「防犯ランドセル(GPS位置情報)0」の結果となった。

子供たちが巻き込まれる事件が続き、今や子供を持つ母親は、それを決して人ごととは思っていない。

携帯は防犯グッズか? いろいろ心配も

様々な防犯グッズがある中で、携帯電話は直接子供と連絡がとれる点で防犯グッズとして母親のニーズを満たしている。そこで主婦たちに子供に携帯を持たせているかを聞いてみたところ、「はい/36%」「いいえ/64%」だった。

子供がどの年齢で携帯電話を持たせたかについても聞いたが、一連の子供の事件以降、携帯を持たせ始める時期が低年齢化している。今回の調査データでは、実際に携帯を持たせ始めた年齢は小学生がいちばん高く、次いで中学生、高校生となっている。

(子供が巻き込まれる凄惨な事件が続く以前は、「携帯を持つのは高校生になってから。自分でアルバイトして携帯代を払えるようになってからね」というのが、主婦たちのおおかたの意見だった。)

小学生と言えば、おこづかいを何年生からいくらずつ与えるかでさえ頭を悩ませるテーマ。だから、携帯は新たな悩みのタネを生む。なぜなら、子供に電話代の自己管理など出来るわけがないし、携帯からアダルトサイトへのアクセスだって犯罪と同じくらい心配。これが母親たちの本音なのだ。

小学生の頃から夜暗くの塾通いも当たり前前の昨今、子供に携帯を持たせるか、持たせないか……。主婦たちの気持ちは揺れ続けている。

主婦の自由記入から
 携帯を持たせたその理由(小学生)

下校時に本人が不審者に後をつけられたこと、誕生日プレゼントを兼ねて。

自分が出かけているとき、帰宅を確認したかったから。子供が電話嫌いで、自宅の電話をとらず、ホットラインとして。

習い事から帰ってくる時間が遅く、心配なため。私が仕事で留守の時間、子供は外で遊ぶことが多いので、連絡を取りたいときに必要になった。

何処にいるか確認するため。
 一人で留守番をさせたとき連絡が取り

やすい。防犯上、固定電話に出てほしいから。

小学校入学前に、「心配しながら待つことを考えたら...」と携帯を持たせることにしました。

私が働いているので、どこにいても

連絡がとれるようにするため。位置情報(G'S)がわかるものにしました。

情緒障害児で、寄り道したまま帰らないということが何度もあり、本人の所在を把握するために。

学校では禁止されているので、塾やお友達と出かけるときに持たせる。

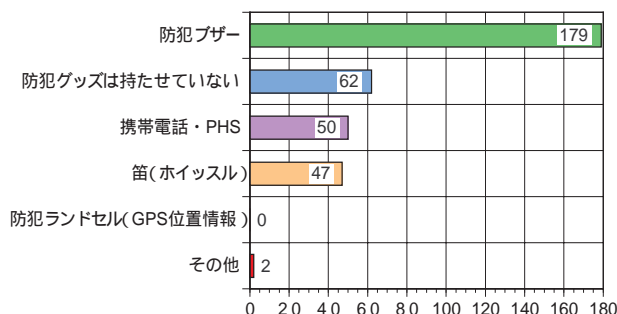
入学祝いとして学校からいただいた。

子供たちはどれくらい怖い目にあっているのか……

主婦たちに、「ここ数年自分の子供や近所など身近な子供が危険な体験をしたか」と聞いてみたところ、「はい/17%」「いいえ/83%」の結果となった。

今や学校でも自治会でもこうした事件にとっても敏感になっていて、それぞれ様々な対策を実行している。たとえば、身近にこうしたことが起きる(未遂を含め)と、「何月何日何時頃コンビニ付近で、学校帰りの小学校3年生の女の子が、黒い車に乗った若い男から“車で送ってあげる”と声をかけられたので要注意」といった配布プリントを子供が持って帰ってきたり、自治会の回覧板が回ってきたりする。悪質で緊急性のある場合は、学校の電話連

Q:どんな防犯グッズを持たせていますか?



絡網だって活用される。

また、学校から防犯ブザーが全生徒に配布されたり、父兄が学校に出入りする際は、指定の腕章を身につけるようにことが義務づけられ、今まで見たこともない腕章が各家庭に配られたりもする。こうした学校や自治会による子供の安全のための様々な対策は、まだ試行錯誤の段階。現実には機能しているかどうかはともかく、「何かせずにいはいられない」という親や学校の気持ちがここに反映している。

主婦の自由記入から

Q:ここ数年、あなたのお子さんや、身近な方が危険な体験をしたことがありますか？

知らない人の車に乗せられて、どこかに連れて行かれそうになった。子供2人だったので、信号で止まった時に慌てて車から降りて逃げたそうです。ついで一ヶ月前に子供が通っている小学校の同級生が、下校時にはさみを持った男に声をかけられた。幸いその子は機転をきかし、小学校に逃げ帰った為、何も被害はなかったそうです。

近くの公園で知らないおじさんに追いかけられたそうです。

奈良の小1女兒誘拐殺害事件では、実は娘が目撃していました。

同じ学校の子どもが放課後自転車に乗って遊んでいるときに、若い男につけ回された。

夏休みのプールの帰りに、声をかけられた。車のナンバーを覚えていたので、警察に連絡し、犯人は捕まった。

幸い我が子に経験はないが、最寄りの公園で不審者にトイレに連れ込まれた子がいます。何事もなく逃げて来たそうですが、それ以来公園に子どもだけで行かせるのを躊躇しています。

防犯グッズには、ソフトが足りない!!

主婦たちに防犯グッズに関する要望を聞いてみた。中でも多かったのが、「どの防犯グッズでも、いざというときに本当に子

供が使えるのかが疑問」という母親の声だった。こうした母親の勘はよく当たるもの。防犯グッズが、いざというとき、「子供たちには使えない」「役に立たない」

では、何のために買うのかわからない。

調べてみると、防犯グッズを商品化する現場では、子供や子供のことがわかっている母親たちを交えて開発されることはまだまだ少ないようだ。また、防犯グッズの実践での使い方や、危険に遭遇したときのロールプレイングなどのソフトの提供も欠落している。

逆に言えば、防犯グッズのモノとしての機能にさほど違いがなければ、関連企業にとっては、使い方やロールプレイングのハウツーなど、ソフトの充実こそがビジネスチャンスを生むと言える。

主婦の自由記入から

Q:防犯グッズについての不満やリクエストはありますか？

学校から防犯ブザーを配布された。鞆につけたり首から提げたりして持って歩いているが、子供の遊び道具になってしまい、いざというときには電池がなくなっていた。

ブザーを鳴らしたことが親にも伝わるシステムがいいと思う。

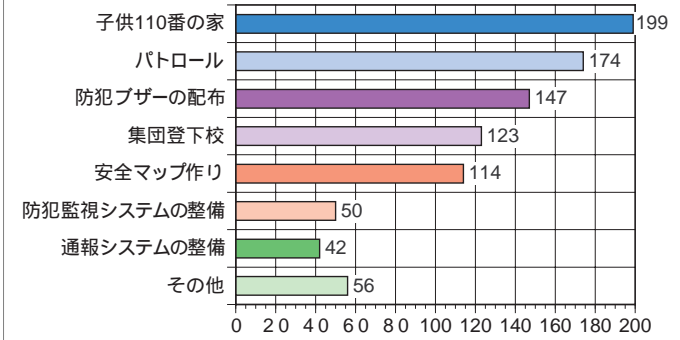
防犯グッズが配布されたり、プレゼントされるのはうれしいが、子供達にどういうときに使うのかという指導が少なすぎる。

子供向けの携帯では、怪しいメールが来ないようにしていれば、安心して持たせられる。

とっさの時、鞆についているブザーに手を伸ばすことができるのが不安。

防犯ブザーが町より小学生全員に配布されたが、人気のない所で使っても

Q:お子さんの学校では防犯について何か取組をしていますか？



意味はなく、また壊れやすかった。

けたたましいサイレンよりも、「助けてー」や「不審者です」など大音量の声が流れる方が効果的だと思う。また電池が切れが分かるとよい。

ランドセルにも全てGPS機能などを付けてほしい。

身に着けやすく、使いやすいもの。リストバンドのようなものや、帽子と一体になっているもの、あるいは付けているのが一目でわかり、それが発動すると犯人が手を出しにくくなるようなものがないと思います。

防犯ブザーをならしても助けに来てくれる人がいないと意味がないと思う。鳴らしたら、すぐ助けに来てもらえる機能が欲しい。

香川いくみ

(株式会社CBTカブトプレートラスト
代表取締役社長)

参照サイト

データ引用: 主婦データワークショップ
<http://soho-bank.ne.jp/workshop/>
(株)CBTカブトプレートラスト
<http://www.caput.co.jp/>

まとめ

子供を巻き込む犯罪が増え、子供を犯罪から守るグッズやサービスが求められている。

母親たちの不安は、「いざという時に子供が使えるのか」という点。

子供と一緒にできるロールプレイングができるなど、製品の使い方のソフトの充実が望まれている。